

国立大学法人
愛知教育大学附属図書館概要
NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION LIBRARY



目 次

1. 図書館案内	2
(1) 開館時間	
(2) 休館日	
(3) 利用者の範囲	
(4) サービス	
(5) 貸出冊数・期間	
(6) 情報検索	
(7) 共通科目図書コーナー	
(8) 児童資料コーナー	
(9) 愛教大資料コーナー	
(10) 世界の教科書コーナー	
(11) アイ♥スペース	
(12) 平面図	
2. 統計	7
(1) 資料	
(2) 利用	
3. 主要コレクション	13
(1) 文庫	
(2) 大型コレクション	
(3) 自然科学系図書資料	
4. 図書館情報システム	17
(1) 経緯	
(2) ハードウェア構成	
(3) ソフトウェア構成	
(4) システム構成	
(5) ホームページアドレス	
5. 沿革	19
6. 組織	22
(1) 事務機構	
(2) 各係の業務内容	
(3) 職員数	
7. 歴代図書館長・事務長・課長	25

1. 図書館案内

(1) 開館時間

	授 業 期 間	休 業 期 間
月～金曜日	9:00～22:00	9:00～17:00
土・日・祝日	11:00～17:00	

(2) 休館日

1. 年末年始
 2. 大学入試センター試験の日、学部の入学試験の日(推薦入学試験日を含む。)
 3. 月例館内整理日(原則として毎月第3水曜日)
 4. 春季、夏季休業及び学年末休講の各期間の土曜日、日曜日及び祝日
 5. 図書館長が特に休館を必要と認めた日
- ※開館状況については、図書館HPの開館カレンダーを後確認下さい。

(3) 利用者の範囲

1. 本学職員及びこれに準ずる者
2. 本学学生及びこれに準ずる者
3. 図書館の利用を申し出た学外者

(4) サービス (複写は有料)

貸出返却 : 図書自動貸出装置を備え付けています。

視聴覚資料 : LD, ビデオ, DVD等をAVコーナーに所蔵しています。

所在調査 : 利用したい資料がどこの図書館に所蔵されているかを調査します。

事項調査 : 知りたい事柄がどの文献に記載されているかを調査します。

利用紹介 : 他大学図書館を利用する際に必要な紹介状を発行します。

利用指導 : 図書館利用方法、情報検索方法の指導をします。

相互貸借 : 図書館所蔵資料を図書館間で貸借します。

文献複写 : ①館内の資料を複写できるように複写機を備え付けています。
②学内に所蔵していない資料は、他の図書館に複写申し込みを行います。

図書館公開 : 地域住民に資料の閲覧、貸出、複写を行っています。

(5) 貸出冊数・期間

区 分	図 書		雑 誌	
	冊 数	期 間	冊 数	期 間
本 学 学 生	5 冊	14 日	3 冊	7 日
院 生・教 職 員	10 冊	30 日	5 冊	7 日
学 外 者	3 冊	14 日	貸出不可	

※返却遅延者は次回貸出制限あり。

(6) 情報検索

・オンライン検索

- ①学内蔵書検索（愛知教育大学の目録・所在情報）
- ②NACSIS Webcat（全国大学図書館等の目録・所在情報）
- ③CiNii(NII論文情報ナビゲータ:定額制機関)
- ④雑誌記事索引集成データベース
- ⑤MathSciNet
- ⑥聞蔵(朝日新聞オンライン記事データベース)
- ⑦中日新聞・東京新聞記事データベース
- ⑧ヨミダス歴史館
- ⑨ジャパンナレッジ・プラスN
- ⑩官報情報検索サービス
- ⑪Scopus(雑誌・引用データベース)
- ⑫第一法規法情報総合データベース
- ⑬理科年表プレミアム
- ⑭ELNET
- ⑮東洋経済デジタルコンテンツライブラリー
- ⑯KOD
- ⑰類語jp

・CD-ROM検索ほか

スタンドアロンタイプ(主なもの)

- ①広辞苑 第4版
- ②国定読本用語総覧
- ③理科年表CD-ROM 2000
- ④岩波理化学辞典 第5版
- ⑤実験化学講座
- ⑥有機化学薬品のMSDS実例集
- ⑦ランダムハウス英語辞典
- ⑧日本語語彙大系
- ⑨朝日新聞戦後見出しデータベース(1945-1999)
- ⑩CD-HIASK 朝日新聞記事データベース(1985-2002)
- ⑪朝日新聞戦前紙面データベース(1926/12-1945/12)
- ⑫判例タイムズ
- ⑬ジュリスト
- ⑭判例百選
- ⑮最高裁判所判例解説
- ⑯昭和前期刊行図書デジタル版集成(社会科学部門)

・電子ジャーナル

約4,000タイトルを導入、提供しています。

(7) 共通科目図書コーナー

平成13年3月に大学生に相応しい知性・感性・身体性を総合的かつ深く身につけさせることを目的に共通科目の図書の充実を図ることとしました。

共通科目担当教員から推薦され新たに購入した図書について、学生が利用し易いよう、本館3階通路南側に『共通科目関係新規購入図書コーナー』を設置しました。

(8) 児童資料コーナー

平成14年3月に、子どもの成長・発達を支援する図書館資料を系統的に整備していくこととしました。講座より推薦され新たに購入した資料について、利用者が利用し易いよう、本館3階に『児童資料コーナー』を設置しました。日本の児童資料だけでなく海外の児童資料も年々増加しています。

平成25年2月に展示型の書架を設置しました。

(9) 愛教大資料コーナー

平成15年1月に、愛知教育大学の教育・研究に関する活動状況等を学内外に広報するため、本館2階に『愛教大資料コーナー』を設置しました。

(10)世界の教科書コーナー

国際的な視野をもった教育関係者の育成に寄与するため，平成14年度以降学長裁量経費により世界15カ所の国及び地域の教科書を収集し，本館3階に『世界の教科書コーナー』を設置しました。

(11)アイ♥スペース

平成21年4月，本館2階閲覧室の一部を多目的利用スペースとして改修し，本学構成員(教職員，学生等)がミーティング，AV視聴，展示など自由な発想で利用できるスペースとして開設しました。平成22年3月には親しみやすい愛称を募集し「アイ♥スペース」（アイスペース）と改めました。

附属図書館が企画するイベントの他，大学構成員(教職員，学生等)に限り使用の申請ができ，申請内容を精査のうえ使用を許可します。

利用希望者は附属図書館備え付けまたは図書館HP掲載の「使用申請書」により申し込みできます。

毎年10数回のイベントが開催されます。主なイベントは次のとおりです。

- ・音楽を専攻する学生による，ランチタイムコンサート
- ・混声合唱団演奏会
- ・造形文化コース学生による，ガラス作品展
- ・美術を専攻する学生による，風景写生などの作品展
- ・サークル活動の展示，発表
- ・図書館企画展

(12)平面図

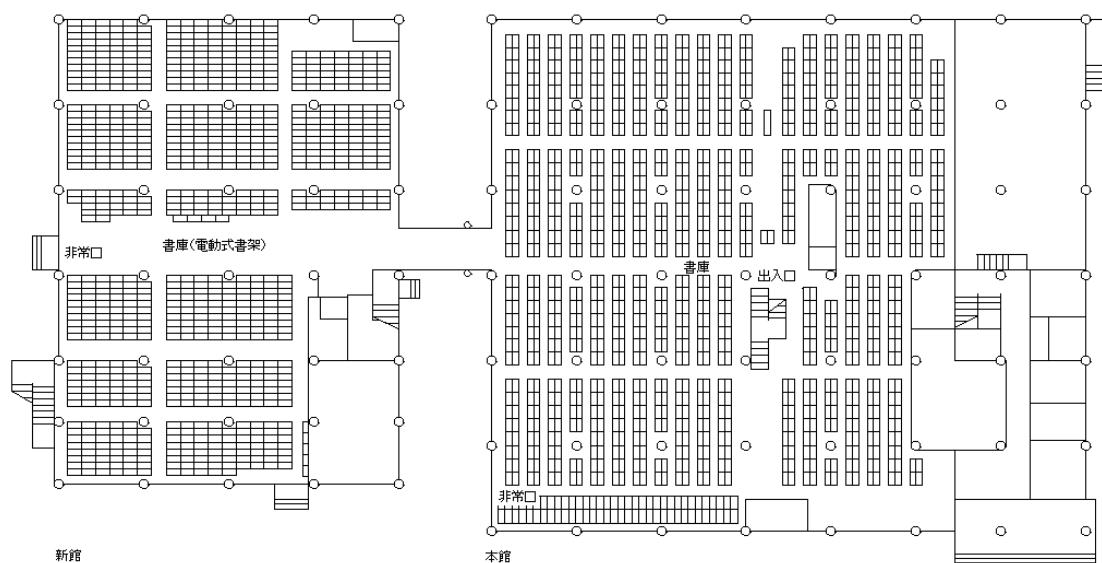
建物概況

階	主 要 室	面 積	座席数
1 階	書 庫	1,535 m ²	
	そ の 他	398	
2 階	閱 覧 室	931	97
	自由閲覧室	64	32
	事 務 室	286	
	書 庫	134	
	そ の 他	530	
3 階	閱 覧 室	1,190	324
	そ の 他	738	
屋 上	塔 屋	55	
計		5,861	453

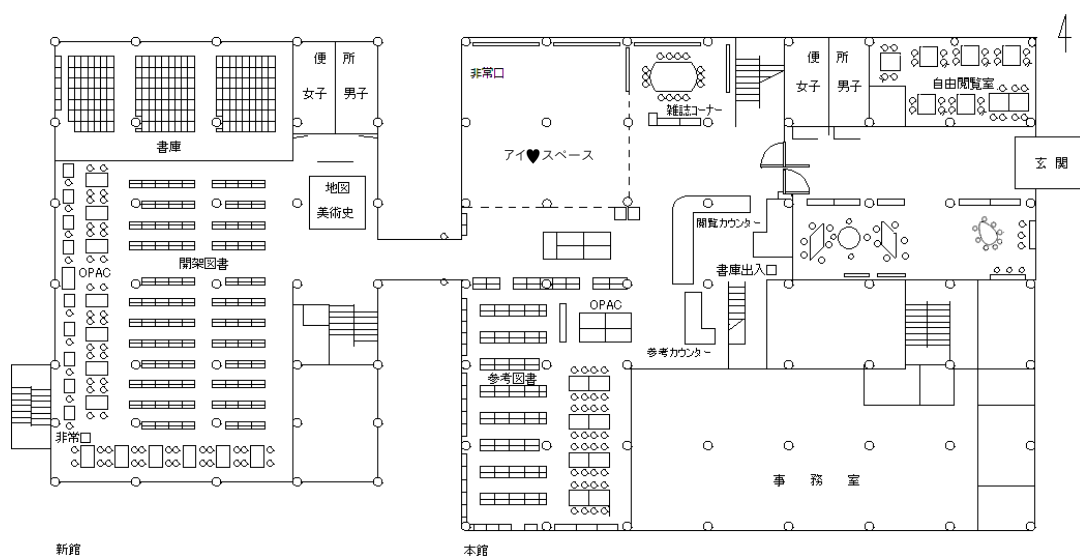
1970.01 本館(総床面積: 3,789 m²)

1982.03 新館(総床面積: 2,072 m²)

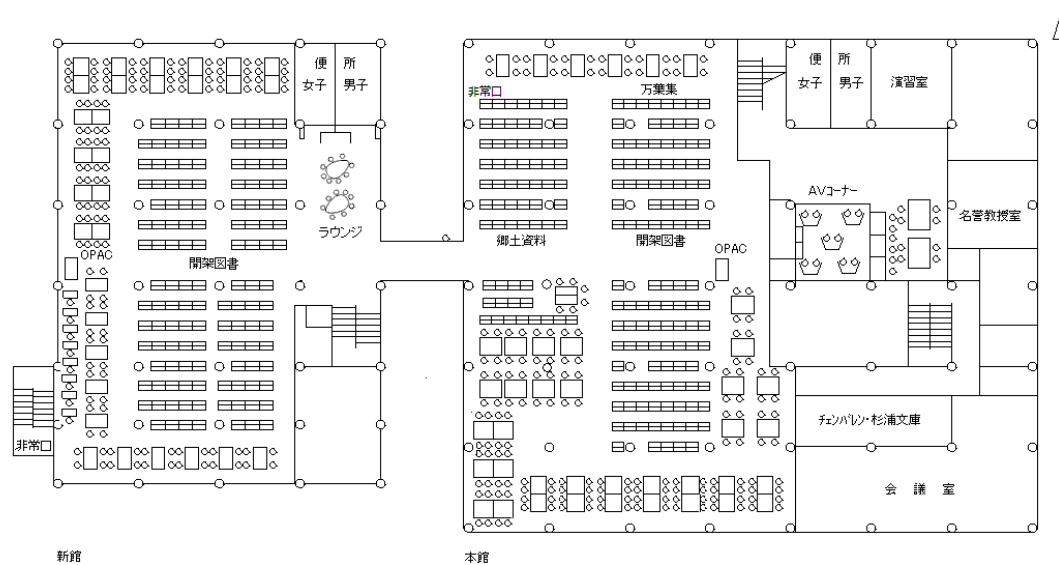
1階



2階



3階



2. 統計

(1) 資料

①蔵書冊数(平成25年3月31日現在)

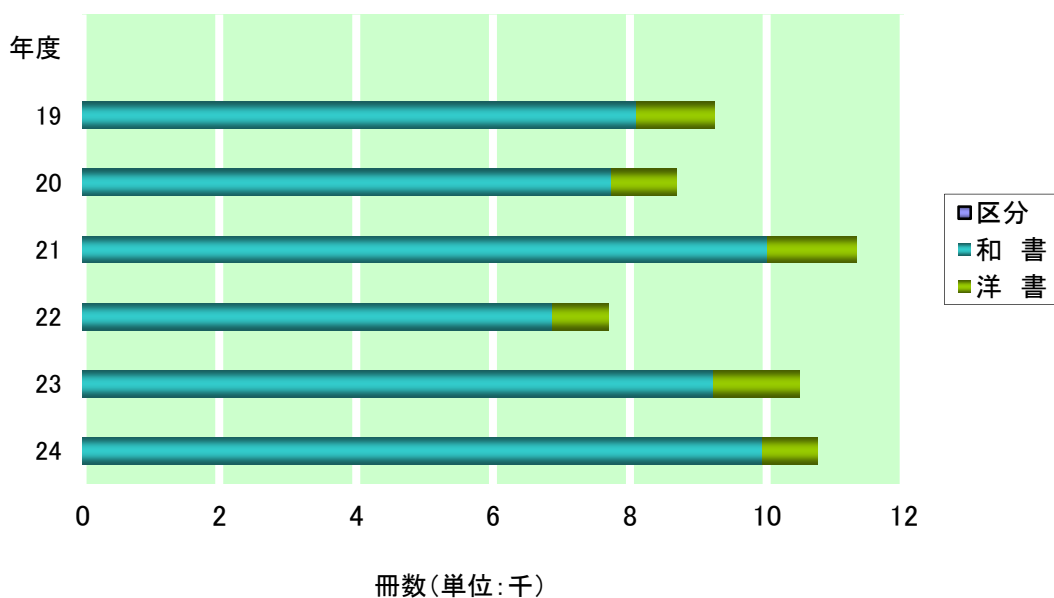
和 書	洋 書	合 計
493,459 (411,355)	139,668 (93,823)	633,127 (505,178)

(注) ()内は目録データベース入力件数

②図書受入冊数

区分 \ 年度	19	20	21	22	23	24
和 書	8,098	7,726	10,006	6,858	9,211	9,943
洋 書	1,135	956	1,305	818	1,263	795
合 計	9,233	8,682	11,311	7,676	10,474	10,738

図書受入冊数



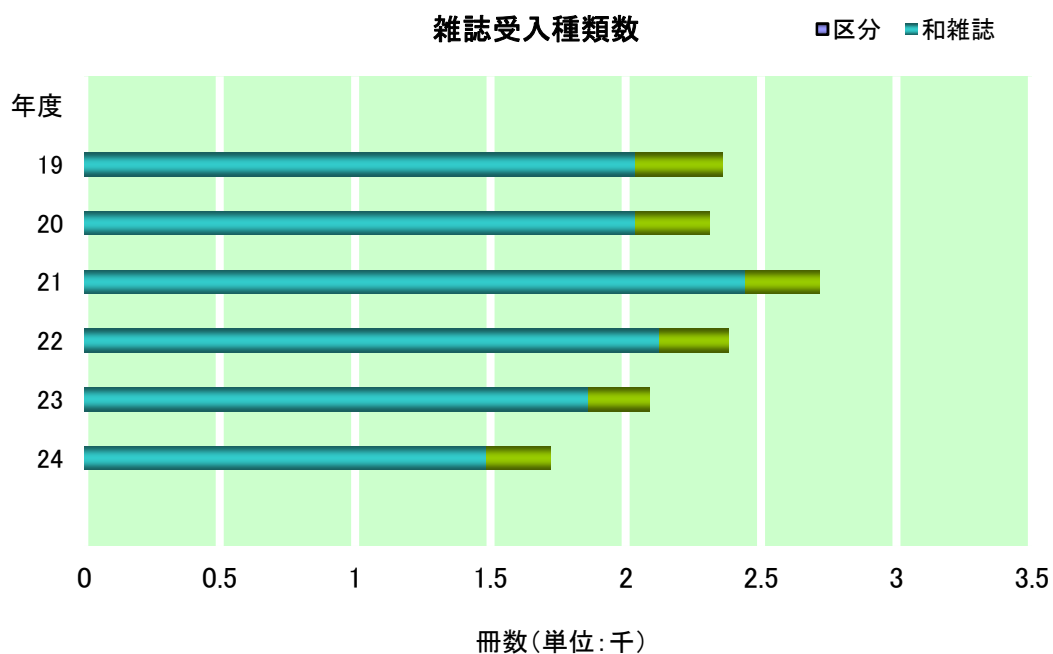
③雑誌種類数(平成25年3月31日現在)

和雑誌	洋雑誌	合計
8,662	1,832	10,494

(注) 誌名が変更されたものは別種類として計算

④雑誌受入種類数

区分 \ 年度	19	20	21	22	23	24
和雑誌	2,036	2,036	2,441	2,124	1,859	1,485
洋雑誌	321	272	274	253	228	237
合 計	2,357	2,308	2,715	2,377	2,087	1,722



(2)利用

①開館日

区分 \ 年度	19	20	21	22	23	24
開館日数	275	294	286	289	293	294
時間外開館延時間数	1,091	1,134	1,145	1,155	1,212	1,211

②入館者数

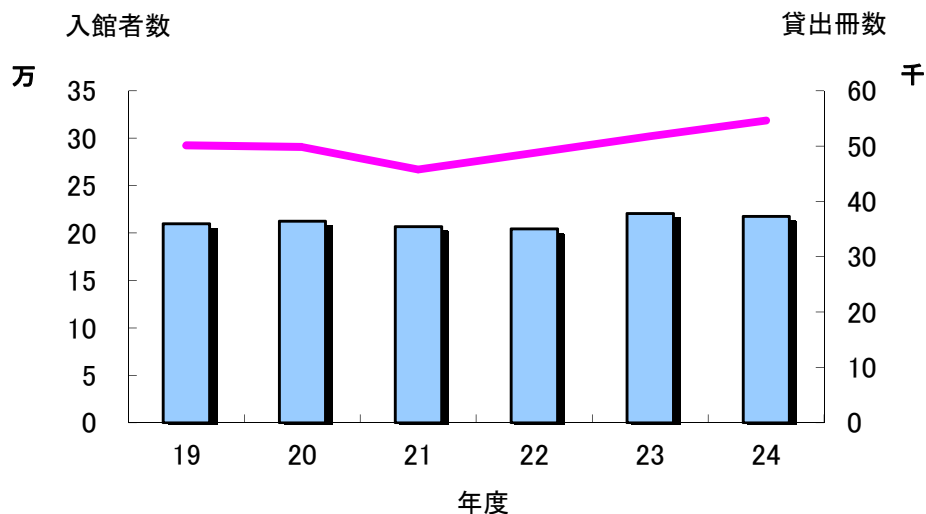
区分 \ 年度	19	20	21	22	23	24
学内者	206,183	209,827	204,152	202,757	218,602	215,759
学外者	3,749	2,886	2,889	1,861	2,274	2,101
合計	209,932	212,713	207,041	204,618	220,876	217,860

③貸出冊数

年度 区分		19	20	21	22	23	24
教職員	平 日	3,405	3,430	3,330	3,245	3,316	3,333
	土・日・祝	144	125	113	107	167	164
学 生	平 日	43,042	42,831	39,275	41,568	44,469	46,963
	土・日・祝	2,456	2,440	2,344	2,678	2,579	3,019
＊ 一 般	平 日	857	808	529	881	802	779
	土・日・祝	220	159	205	299	471	362
合 計		50,124	49,793	45,796	48,778	51,804	54,620

入館者数と貸出冊数

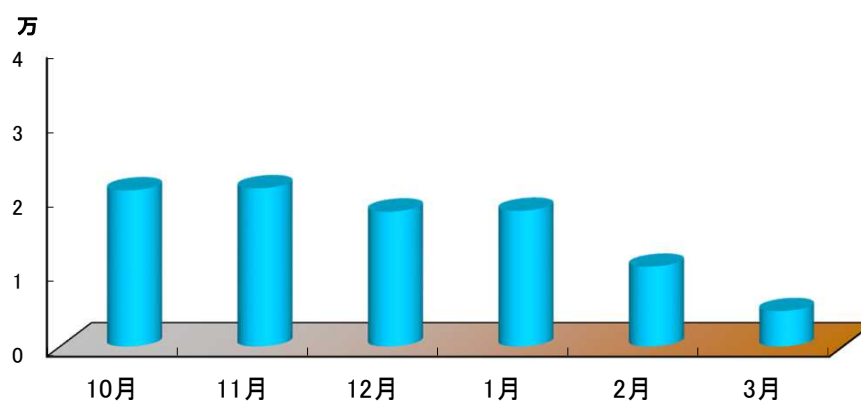
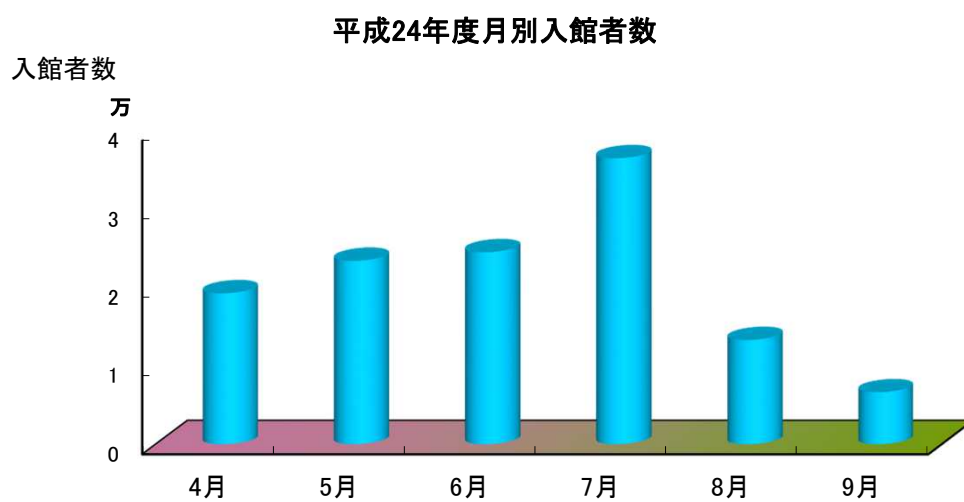
入館者数 貸出冊数



④平成24年度月別入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入館者数	19,311	23,426	24,516	36,434	13,390	6,685

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者数	20,965	21,240	18,129	18,233	10,760	4,771

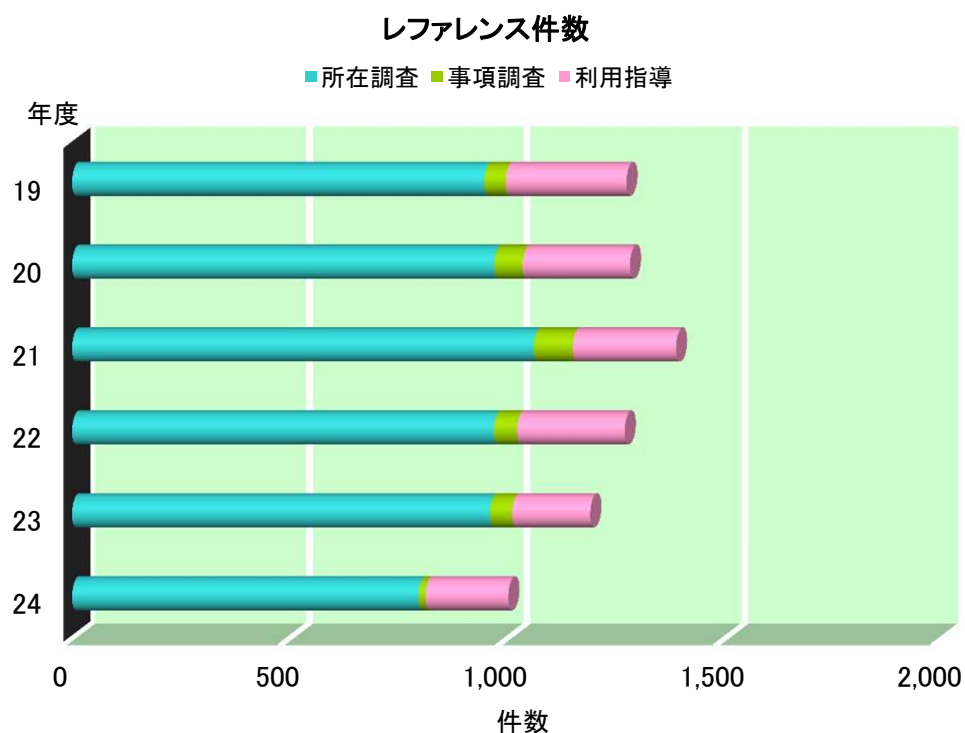


⑤相互利用件数

年度			19	20	21	22	23	24
区分								
	相互 貸借	受付	541	620	628	604	550	507
		依頼	192	262	274	246	207	132
文 献 複 写	受 付	学内	544	266	116	228	371	214
		学外	1,795	1,464	1,274	1,133	1,090	908
	依頼		1,372	1,294	1,060	1,580	1,176	1,087

⑥レファレンス件数

年度			19	20	21	22	23	24
区分								
	所在調査		946	969	1,059	968	959	795
	事項調査		49	65	90	53	51	16
	利用指導		277	246	237	247	179	190

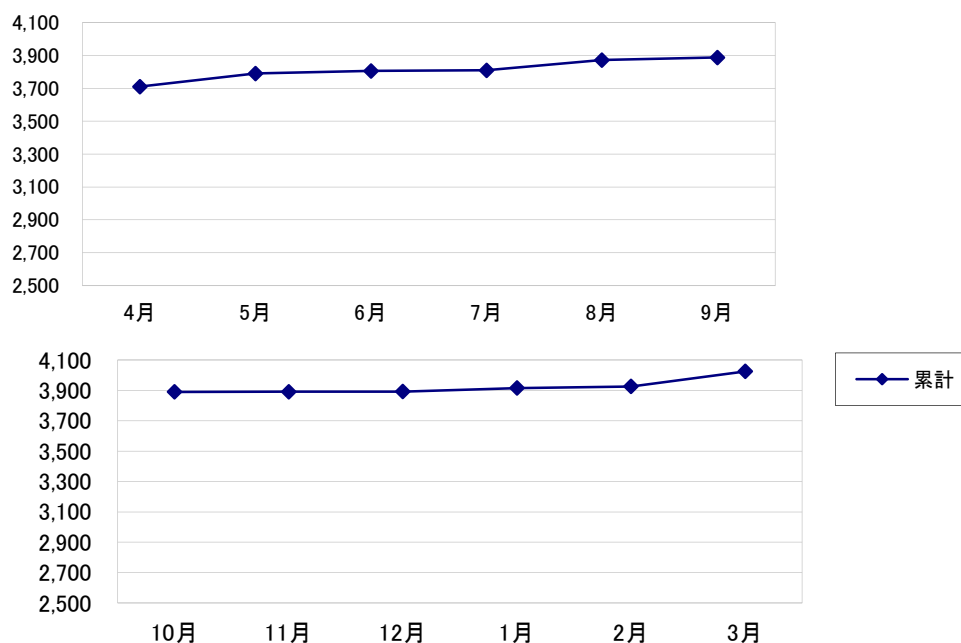


⑦平成24年度リポジトリ登録累計

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
学術雑誌論文(学内発行)	3,290	3,329	3,344	3,348	3,410	3,421
学術雑誌論文(学外発行)	145	145	145	145	145	148
卒業研究(学部)	8	8	8	8	8	8
学位(修士)論文	194	202	203	203	203	203
附属学校						
教職大学院修了報告書	22	55	55	55	55	55
研究報告書	25	25	25	25	25	27
会議・学会資料	21	21	21	21	21	21
単行書・単行書の章	2	2	2	2	2	2
一般雑誌記事	3	3	3	3	3	3
累計	3,710	3,790	3,806	3,810	3,872	3,888

種別 \ 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学術雑誌論文(学内発行)	3,422	3,423	3,424	3,425	3,434	3,434
学術雑誌論文(学外発行)	148	148	148	148	148	148
卒業研究(学部)	8	8	8	8	8	84
学位(修士)論文	203	203	203	205	206	229
附属学校				21	21	21
教職大学院修了報告書	55	55	55	55	55	55
研究報告書	28	28	28	28	28	28
会議・学会資料	21	21	21	21	21	21
単行書・単行書の章	2	2	2	2	2	2
一般雑誌記事	3	3	3	3	3	3
累計	3,890	3,891	3,892	3,916	3,926	4,025

平成24年度リポジトリ登録累計の推移



3. 主要コレクション

(1) 文庫

チェンバレン・杉浦文庫

(配架場所: 本館3階)

英人バジル・ホール・チェンバレン氏(1850 ～ 1935)と岡崎市生まれ杉浦藤四郎氏(1883 ～ 1968)の蔵書、書簡等よりなる文庫である。チェンバレンは、その一生を古事記を始め各種文学書の翻訳から言語学研究など、卓越した語学力で日本文化に貢献した旧東京帝国大学の教授で、小泉八雲の師としても著名な学者であった。杉浦藤四郎は、チェンバレンのいわゆる学僕であった。チェンバレンに随行して、米国、英国、アジア諸国、スイス等に影と添うごとく身辺にあって愛顧を受け、同氏の蔵書の一部(和書と英書、および身辺雑具)を遺品として贈与を受けられた人である。昭和 36 年・平成 2 年目録刊行。



近代詩歌文庫

(配架場所: 新館1階)

与謝野鉄幹・晶子夫妻を始めとし、西條八十に至る約百数十名にのぼる詩人・歌人の詩歌集で、しかもそのほとんどが初版本であるという珍しいものである。加えて一世を風靡した「明星」、「スバル」、「新聲」など、現在では伝説にちかい詩雑誌を所蔵している。昭和 29 年目録刊行。



明倫堂漢籍

(配架場所: 本館1階)



江戸時代、尾張藩の藩校であった「明倫堂」の蔵書を母体とする。「明倫堂」は名実ともに日本藩学中の一大代表と目され、その学風は朱子学を中核としつつも、自注をも加えたもので、科目は和・漢・算の 3 コースであったとのことである。所蔵中の図書には「明倫堂」の蔵書印のほか、尾張藩の諸機関や他藩の蔵書印が捺印されている。昭和 40 年に目録を刊行。なお、目録とは別に和装本の国書を所蔵。

万葉文庫

(配架場所:本館3階)

原典とされている桂本から、藍神本・元暦本・金沢本の古写本の複製を始め、各時代の研究書、歌人研究書、地誌、風俗、その他を含む。特に貴重なものとして、田中道麿と本居宣長自筆の「万葉集問答」に至っては筑摩書房から刊行された「本居宣長全集 第6巻」にも新資料として収録されたものである。



郷土資料

(配架場所:本館3階)



愛知県のほか、岐阜・三重・静岡の東海4県および長野の郷土資料を収集したものである。その内、愛知県については「愛知県郷土資料目録第1-4集・愛知図書館協会刊」に所蔵情報を提供している。

岡田文庫

(配架場所:新館1階)

岡田式静坐法の創始者である岡田虎二郎(田原町出身、1872 - 1920)が米国留学中に蒐集した語学・文学・哲学関係の集書であるが、臨床医学に関係のある図書も含まれる。その弟子である服部正喬氏の好意により昭和47年7月目録が刊行。



教科書

(配架場所:本館1階・3階)

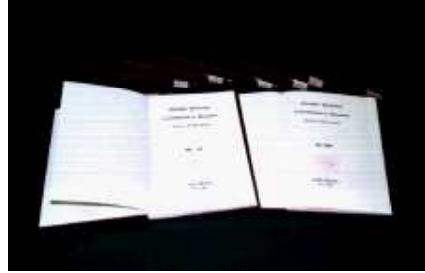
江戸時代寺子屋で使用された往来物に加え、検定・国定制度を経て現在に至るまでの教科書を所蔵している。



(2) 大型コレクション

Columbia University, Teachers College. Contributions to education 972 冊
(コロンビア大学教育学叢書) 昭和 53 年度 (配架場所:新館1階)

アメリカで 1901 - 1951 年にかけて出版された主要な教育学研究書のリプリント版。収録された研究論文は、一万数千点にのぼる学位論文のなかから精選されたもので、教育学のあらゆる分野を包括する教育研究の一大叢書集である。



その内訳は教科別教育 182 冊, 教員養成問題 140 冊, 教育評価 92 冊, 教育心理 58 冊, 発達心理 54 冊, 特殊教育 76 冊, 教育行政・財政 256 冊, 高等教育 73 冊, 黒人教育 16 冊, 幼児教育 25 冊。

Bibliotheca scriptorum Graecorum et Romanorum Teubneriana 338 冊
(トイブナー古典叢書) 昭和 55 年度 (配架場所:新館1階)

古代ギリシャ・ラテンの文学, 哲学, 歴史, 演説, 自然科学など, あらゆる分野に関する古典を集めたもので, 西洋古典学研究上, 非常に価値のある資料集である。大部分はリプリントであるが, オリジナルも一部含まれている。



Health, physical education and recreation 4,535 枚(マイクロフィッシュ)
(保健・体育・レクリエーション研究文献集成) 昭和 56 年度 (配架場所:新館1階)

オレゴン州立大学保健体育学部で編集・製作された, 全米の各大学保健体育学部の 1949 年 10 月 - 1980 年 4 月までの保健・体育・運動生理・レクリエーション・心理学等に関する学位論文等を収録したものである。

Collection of women's study in Europe and the United States 1,117 点(マイクロフィルム含)
(欧米婦人問題コレクション) 昭和 61 年度 (配架場所:新館1階)

19 世紀から現代に至る欧米各国の婦人問題(労働, 家庭, 社会, 政治及び文学における女性の状況, 運動など)に関する研究文献を収録したものである。また, 家政学, 家庭科教育において婦人問題を世界史的視野から考察するためのみならず, 他の分野(歴史, 社会, 経済, 教育など)においても婦人問題を理解し研究するために, 貴重なコレクションである。

羅山先生集 全 60 冊 昭和 63 年度
(配架場所:本館1階)

江戸時代初期の儒学者で幕府文教政策の確立者である林羅山の文章, 詩を集成した全集である。文集 75 巻, 詩集 75 巻, 附録 5 巻。



A collection of early western musicology 227 リール(マイクロフィルム) 1,397 枚(マイクロフィッシュ)
(初期西洋音楽学研究コレクション) 平成 3 年度 (配架場所:新館1階)

(3) 自然科学系図書資料

化学辞典シリーズ(11 種類) 全 39 冊 平成7年度 (配架場所:本館2階)



有機金属化合物大辞典, アルカロイド辞典, 分析試薬辞典, 抗生物質辞典, 無機化学大辞典, 有機化合物大辞典, 医薬品辞典, 天然化合物大辞典, 有機リン化合物辞典, ステロイド辞典, テルペロイド辞典

4. 図書館情報システム

(1) 経緯

- 1987.02 電子計算機 (富士通 FACOM K270R)を導入し, 閲覧システムを開始。
- 1987.10 学術情報センターに接続, 以降情報検索, 目録システム, 電子メール,ILLシステムを逐次開始。
- 1991.04 電子計算機の機種を更新(富士通 FACOM K650si/20)。
- 1994.03 学内LANを敷設。
- 1995.03 電子計算機の機種を更新, UNIXシステム(HEWLETT PACKARD HP9000E 35)を導入。
- 1996.12 ホームページを開設。
- 1999.03 電子計算機の機種を更新(HEWLETT PACKARD HP9000 Model D220)。
図書自動貸出返却装置を導入(住友3M製)。
- 2001.03 CD/DVD-ROMサーバ・ネットワーク検索システム運用開始。
- 2003.03 電子計算機の機種を更新(Sun EnterPrise 250)。
- 2005.10 携帯OPACサービス開始
- 2008.03 電子計算機の機種を更新(PRIMERGY TX200S3)
- 2009.01 愛知教育大学学術情報リポジトリシステム正式運用開始
- 2013.09 情報処理センターシステムサーバーへ図書館システムの仮想化

(2) ハードウェア構成

省略

(3) ソフトウェア構成

iLiswave-JV2 (図書館業務システム 富士通(株))

(4) システム構成

省略

(5) ホームページアドレス

ホームページ

<http://www.aelib.aichi-edu.ac.jp>

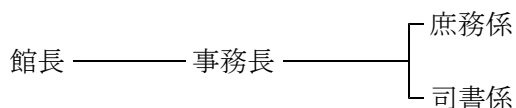
愛知教育大学学術情報リポジトリ

<http://repository.aichi-edu.ac.jp/>

5. 沿革

昭和

- 24. 5 国立学校設置法により、愛知第一・第二師範学校及び愛知青年師範学校を包括して愛知学芸大学が設置され、名古屋分校、豊川分校、安城分校が置かれた。それぞれの分校に図書館の分館が置かれた。
- 24. 6 仮大学本部が名古屋分校に設置され、本部附属図書館が本部図書事務室の名称で事務を開始した。
- 25. 4 豊川分館は、岡崎市明大寺町に移転し岡崎分館と改称した。
- 25. 8 万葉文庫の収集を始めた。
- 25. 9 旧第二師範学校女子部図書室が岡崎分館に吸収された。
- 25.12 服部文庫を購入した。
- 26. 3 本部が岡崎分校地区に移転と同時に本部図書事務室も岡崎分館に吸収された。
- 26. 4 「図書管理及び閲覧規程」並びに「事務分掌規程」が制定され、図書館の組織が、次のとおりとなった。



- 26. 9 初代館長が就任した。
- 26.12 図書館委員会が発足した。
- 27. 1 「愛知学芸大学附属図書館規程」が制定された。
- 27. 3 安城分校が廃止になり、安城分館は本館に吸収された。
- 33. 3 B. H. Chamberlain文庫を購入した。
- 36. 1 閲覧係が設置された。
- 37. 4 旧尾張藩明倫堂などの漢籍の整理事業に着手した。(3年計画)
愛知学芸大学附属図書館建設推進委員会が発足した。
- 37. 6 学外推進団体として愛知学芸大学附属図書館建設協力会が結成された。
- 38. 5 愛知学芸大学附属図書館が竣工した。
- 40. 3 「附属図書館名古屋分館所蔵漢籍目録」が刊行された。
- 40. 5 「愛知学芸大学附属図書館長選考規程」が制定された。
- 41. 4 国立学校設置法の一部改正により「愛知教育大学」と改称した。
- 43. 7 「愛知教育大学附属図書館文献複写規程」が制定された。
- 43.11 図書館連絡協議会が設置された。
- 45. 1 附属図書館が刈谷市井ヶ谷町に竣工した。(3,789㎡)
- 45. 4 本館及び名古屋分館が刈谷市井ヶ谷町に移転した。
- 45. 4 名古屋分館図書係が廃止になり、本館に参考係が設置され、本館司書係を整理係と改称した。
- 45. 6 「愛知教育大学附属図書館規程・愛知教育大学附属図書館利用規程・愛知教育大学附属図書館委員会規程」が制定された。
- 45. 9 「愛知県第一師範学校所蔵古本目録」が複製刊行された。
- 50. 3 愛知教育大学史が刊行された。
- 50. 4 「愛知教育大学研究報告編集委員会規程」が制定された。
- 52. 7 庶務係を総務係と改称した。
- 53.10 時間外閲覧業務が開始された。
- 54. 6 東海地区国立大学図書館協議会の下部組織として、東海地区国立大学電算処理委員会が発足し、本学もこれに参加した。
- 56. 3 「愛知教育大学雑誌目録」を創刊した。

昭和

- 57. 1 国立大学図書館共通閲覧証による相互利用を開始した。
- 57. 3 附属図書館新館が増築された。(2,072㎡)
- 58. 4 受入係が設置された。
- 58. 9 愛知教育大学図書館資料の「不用決定及び廃棄基準」を制定した。
- 58.10 ブックディテクション装置が導入された。
- 59. 4 「愛知教育大学附属図書館文献複写取扱要綱」が制定された。
- 62. 2 附属図書館業務用電子計算機(FACOM K-270R)システムが導入され、閲覧管理業務が開始された。
- 62.10 学術情報センターと接続し、目録所在情報システムの利用機関となった。
- 62.11 電子計算機システムにより、雑誌管理業務が開始された。
- 62.12 情報検索サービスが開始された。
- 63. 3 「愛知教育大学逐次刊行物目録(1987年版)」を刊行した。
- 63. 4 目録所在情報システムへ書誌・所在情報の登録を開始した。
教科書国書整理作業に着手した。(5年計画)
- 63. 7 電子メールシステムのサービスが開始された。

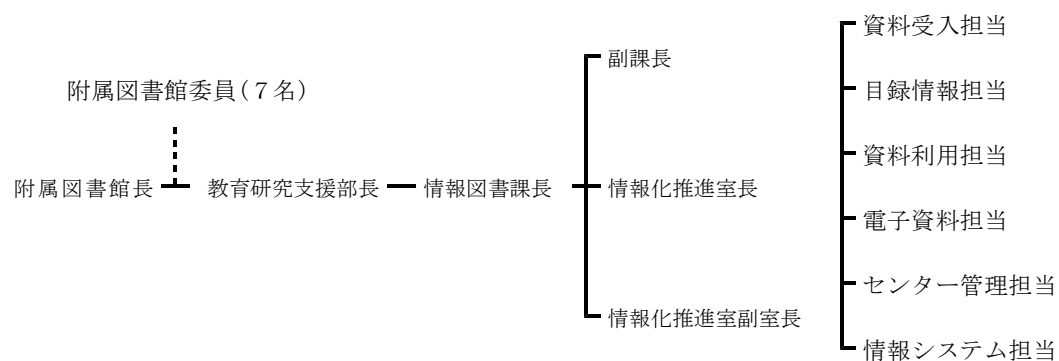
平成

- 1. 9 「愛知教育大学附属図書館文献複写料金徴収猶予実施細則」を制定した。
- 2. 6 OPACのサービスが開始された。
- 2.12 「B.H.Chamberlain文庫目録(新版)」を刊行した。
- 3. 4 電子計算機FACOM K-270R をFACOM K-650Si/20 に機種更新した。
- 3. 9 OPACの学内ネットワーク上でのサービスが開始された。
- 4. 3 B. H. Chamberlain文庫 を チェンバレン・杉浦文庫に改称した。
「チェンバレン・杉浦文庫書簡目録(改訂版)」を刊行した。
- 4. 4 ILLシステムのサービスが開始された。
- 4. 5 完全週休2日制に伴い、土曜開館を試行的に開始した。
- 4. 8 目録データ遡及入力(第一次5年計画)を開始した。
- 5. 3 教科書国書整理作業が終了した。(5年計画)
- 6. 3 チェンバレン・杉浦文庫の公開展示会を開催した。
- 7. 3 電子計算機 FACOM K-650Si/20 を HEWLETT PACKARD HP9000 E35に機種更新した。
- 8. 1 視聴覚用サービスとして、AVコーナー(3台)を設置した。
(H9.2, 増設2台)
- 8. 8 地域住民等への利用サービスを開始した。
- 9. 3 目録データ遡及入力(第一次5年計画)を終了した。
- 9. 8 目録データ遡及入力(第二次10年計画)を開始した。
- 11. 3 電子計算機システムをHEWLETT PACKARD HP9000 Model D220に機種更新した。
図書自動貸出返却装置を導入し、閲覧業務の一部セルフサービス化を開始した。
- 13. 3 CD/DVD-ROMサーバ・ネットワーク検索システムの運用を開始した。
- 14.11 利用者サービス向上の一環として、日曜・祝日開館を試行的に開始した。
- 15. 3 電子計算機システムをSun Enterprise 250に機種更新した。
- 15. 4 平日延長開館時間を午後10時までとした。日曜・祝日の時間外開館を開始した。
- 16. 4 国立大学法人化に伴い、国立大学法人愛知教育大学として新たに発足し、附属図書館は国立大学法人愛知教育大学附属図書館に名称変更した。
事務体制は、事務部から課体制となり図書課となった。
- 16.11 「世界の教科書展ーロシアとヨーロッパ」を開催した。

- 平成
- 17.10 携帯OPACサービスを開始した。
- 17.11 「環境についての教科書と絵本展ードイツを中心に」を刈谷市中央図書館と共催した。
18. 9 「続・環境についての教科書と絵本展ードイツを中心に」と、環境ゲーム大会を刈谷市中央図書館と共催した。
- 18.10 8, 9月本館耐震工事を行った。
- 18.10 本館耐震工事竣工, 併せて人感センサーを設置した。
- 19.10 入館システムをカード対応に更新した。
- 19.11 「教科書でたどる科学教育史」を理科教育講座, 特色GP共同催事として開催した。
- 19.11 除籍図書を学内外に有償提供した。
20. 3 図書館業務システムを富士通製に更新した。
20. 7 全学の情報環境の維持管理体制の強化及び図書館からの情報発信の強化を図るため, 情報推進部門と図書課を統合し, 情報図書課として組織を整備した。
21. 1 愛知教育大学学術情報リポジトリを正式公開した。
21. 4 多目的利用スペースを設置した。
22. 2 屋上に太陽光発電システムを設置し, 運用を開始した。
22. 4 多目的利用スペースを「アイ♥スペース」に名称を改めた。
- 22.11 学生・院生による図書選書ツアー(ブックツアー)を実施した。
23. 3 既設電動式移動書架の改修工事を行った。
本館3階に大学史資料部門室を開設した。
本館3階閲覧室(北側)に閲覧カウンター(10席)を設置した。
23. 4 事務体制は部制となり教育研究支援部情報図書課となった。
24. 2 俳諧一枚摺デジタルアーカイブを公開した。
24. 3 新館2・3階閲覧室のじゅうたん張替工事を行った。
無線 LAN 工事を行い, 図書館全館内での無線 LAN 使用が可能になった。
24. 5 リポジトリの英語画面を公開した。
25. 1 本館2階にBookナビを設置した。
25. 2 児童資料コーナーの書架を増設した。
雑誌コーナーの机といすを取り替えた。
ラウンジにホワイトボードを設置した。
「調べ方ガイド」を作成した。
25. 3 新館 2・3 階閲覧室を, LED 照明に取り換えた。
25. 9 新図書館システム(富士通製)を情報処理センターシステムサーバーへ仮想化した。

6. 組 織

(1) 事 務 機 構



附属図書館委員会 平成25年度委員(氏名の頭☆ 委員長)

所 属	講 座	氏 名
附 属 図 書 館 長		☆ 岩 崎 公 弥
教 育 科 学 系	教 職 実 践	中 妻 雅 彦
人 文 社 会 科 学 系	日 本 語 教 育	田 村 健 一
自 然 科 学 系	理 科 教 育	渡 邊 幹 男
創 造 科 学 系	保 健 体 育	鈴 木 英 樹
情 報 処 理 セ ン タ ー 長		中 西 宏 文
教 育 科 学 系	学 校 教 育	尾 形 和 男

(2) 各担当の業務内容

資 料 受 入 担 当 (内線 2683・2684)

- ・文書の接受および発送に関すること
- ・予算の経理に関すること
- ・学内学外の各種委員会に関すること
- ・図書館関係調査統計に関すること
- ・図書館資料の契約に関すること
- ・図書館資料の収集並びに受入れに関すること
- ・図書館資料の受入区分および登録に関すること

目 録 情 報 担 当 (内線 2685)

- ・図書館資料の分類および装備に関すること
- ・図書館資料の目録作成並びにその整備に関すること
- ・その他, 図書館資料の整備充実に関すること

資 料 利 用 担 当 (内線 2688)

- ・図書館資料の出納, 閲覧および貸し出しに関すること
- ・図書館資料の配架および保管に関すること
- ・図書館資料の利用統計に関すること
- ・文献の調査, 収集および情報提供に関すること
- ・各種書誌的資料の調査及び目録整備に関すること
- ・図書館資料の相互貸借並びに文献の複写に関すること

電 子 資 料 担 当 (内線 2198)

- ・機関リポジトリ構築および運用に関すること
- ・図書資料等の電子化の企画・実施に関すること
- ・研究者総覧システムの運用・管理に関すること

セ ン タ ー 管 理 担 当 (内線 2199)

- ・情報処理センターの運用及び管理に関すること
- ・情報ネットワークの導入, 維持及び管理に関すること

情 報 シ ス テ ム 担 当 (内線 2197)

- ・情報化推進に係る事項の実施策策定および関係部局との連絡調整に関すること
- ・事務情報化業務システムの導入・運用支援, 維持および管理の支援に関すること
- ・情報ネットワークの運用に係る情報処理センターとの連携に関すること
- ・個人情報保護の運用支援および調査・点検に関すること

(3) 職 員 数

区 分	常 勤 職 員	非 常 勤 職 員	合 計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
副 課 長	1		1	
情報化推進室長	1		1	
情報化推進室副室長	1		1	
資料受入担当	3	2	5	
目録情報担当	2	2	4	
資料利用担当	2	2	4	
電子資料担当	2	1	3	
センター管理担当	1		1	
情報システム担当	2	1	3	
合 計	1 7	8	2 5	

7. 歴代図書館長・事務長・課長

(1) 図書館長

初代	高 嶺 昇	生物学教室	昭和26. 9. 1～昭和32. 3.31
2代	室 善 助	物理学教室	昭和32. 4. 1～昭和36. 3.30
3代	小木 曾 公	史学教室	昭和36. 3.31～昭和38. 6.13
4代	宮 田 菱 道	哲学教室	昭和38. 6.14～昭和40. 6.13
5代	原 吉 雄	心理学教室	昭和40. 6.14～昭和41. 3.31
6代	山 本 喜 三	教育学教室	昭和41. 4. 1～昭和43. 3.31
7代	隈 元 保	教育学教室	昭和43. 4. 1～昭和45. 3.31
8代	森 原 章	史学教室	昭和45. 4. 1～昭和47. 3.31
9代	土 井 康 生	法経社教室	昭和47. 4. 1～昭和49. 3.31
10代	熊 谷 勉	史学教室	昭和49. 4. 1～昭和50. 3.31
11代	橋 爪 貞 雄	教育学教室	昭和50. 4. 1～昭和52. 3.31
12代	山 田 作 男	史学教室	昭和52. 4. 1～昭和54. 3.31
13代	樋口 芳麿呂	国語教室	昭和54. 4. 1～昭和56. 3.31
14代	松 井 貞 雄	地理学教室	昭和56. 4. 1～昭和58. 3.31
15代	吉 田 義 孝	国語教室	昭和58. 4. 1～昭和60. 3.31
16代	堀ノ内 敏	心理学教室	昭和60. 4. 1～昭和62. 3.31
17代	米 川 五 郎	家政学教室	昭和62. 4. 1～平成元. 3.31
18代	原 田 純	外国語教室	平成元. 4. 1～平成 3. 3.31
19代	中 田 尚 男	物質科学領域	平成 3. 4. 1～平成 5. 3.31
20代	久 世 妙 子	幼児教育教室	平成 5. 4. 1～平成 7. 3.31
21代	小笠原 節夫	地理学教室	平成 7. 4. 1～平成 9. 3.31
22代	天 野 彰 夫	体育教室	平成 9. 4. 1～平成11. 3.31
23代	松 田 猛	物質科学領域 (理科教育講座)	平成11. 4. 1～平成13. 3.31
24代	佐 藤 洋 一	理科教育講座	平成13. 4. 1～平成15. 3.31
25代	横 山 信 幸	国語教育講座	平成15. 4. 1～平成16. 3.31
26代	米 田 吉 孝	保健体育講座	平成16. 4. 1～平成18. 3.31
27代	松 田 正 久	理事	平成18. 4. 1～平成20. 3.31
28代	折 出 健 二	理事	平成20. 4. 1～平成23. 3.31
29代	岩 崎 公 弥	理事	平成23. 4. 1～

(2) 部長(事務機構の改編により教育研究支援支援部に組織替え)

三宅育夫	平成23. 4. 1～	(教育研究支援部長)
------	-------------	------------

(3) 事務長

伊藤文行	昭和26. 9. 1～昭和40. 3.31	
伊藤一郎	昭和40. 4. 1～昭和43. 3.31	
竹下澄雄	昭和43. 4. 1～昭和43. 5.19	* 事務取扱
馬越穎一	昭和43. 5.20～昭和43. 7.15	* 事務取扱
佐藤三郎	昭和43. 7.16～昭和47. 3.31	
萩原安生	昭和47. 4. 1～昭和55. 3.31	
青山直方	昭和55. 4. 1～昭和60. 3.31	
三浦芳夫	昭和60. 4. 1～昭和63. 3.31	
志賀巖	昭和63. 4. 1～平成 2. 3.31	
伊藤芳生	平成 2. 4. 1～平成 5. 3.31	
青山英樹	平成 5. 4. 1～平成 7. 3.31	
加藤陽造	平成 7. 4. 1～平成 8. 3.31	
稲垣岩夫	平成 8. 4. 1～平成10. 3.31	
神谷和幸	平成10. 4. 1～平成13. 3.31	
内田守	平成13. 4. 1～平成16. 3.31	

(4) 課長(事務機構の改編により事務長から課長に名称変更)

内田守	平成16. 4. 1～平成17. 3. 31	(図書課長)
高銚豊蔵	平成17. 4. 1～平成20. 3. 31	(図書課長)
三宅育夫	平成20. 4. 1～平成20. 6. 30	(図書課長)
三宅育夫	平成20. 7. 1～平成23. 3. 31	改組 (情報図書課長)
稲垣敏之	平成23. 4. 1～平成25. 3. 31	(情報図書課長)
林光春	平成25. 4. 1～	(情報図書課長)